

老人ホームの選び方

介護サービスは、あらかじめ料金に含まれている施設と、施設入居契約以外に外部の事業者との契約が必要な施設があります。お一人の時間を過ごすお部屋の基準も様々で、お身体の状態が変化した際に住替えが必要になる施設もあり、施設に入居する際は希望する生活や目的に沿って選ぶ事が大切です。

高齢者向け施設 （通称）	運営	施設 サービス	介護保険サービス		費用（1人あたり）		
			身体/生活援助 健康管理/機能訓練 レクリエーション	提供元	契約方式 ※1	入居 一時金 （円）※2	月額費用 （円）※3
介護付き有料老人 ホーム（介護付）	主に 民間企業	食事の提供 生活相談 見守り 安否確認	利用した 介護サービスが定額	入居する 施設	利用権	～1,000万	15万 ～30万
住居型有料老人 ホーム（住宅型）			利用した 介護サービス分だけ 従量課金 （限度額有り）	外部の 事業所		～500万	～20万
サービス付き 高齢者向け住宅 （サ高住）					賃貸	～30万	

※1 利用権、賃貸が選択できる施設もございます。 ※2 入居一時金の償却年数は5～20年程で、初期償却15～30%が多くあります。
※3 月額料金は一時金償却を除いた料金になります。

介護付有料 老人ホーム

生活支援から本格的な介護、広範なサービスを入居者様に合わせて提供する施設

- ・必要に応じて、看護やリハビリなどのサポートも受けられる
- ・介護サービス費用は、要介護度によって決められた定額を支払い

介護が必要の無い自立から、ある程度の要介護度がある方まで幅広く入居 出来る施設

- ・イベントやレクリエーションが充実

住宅型有料 老人ホーム

サービス付き 高齢者向け住宅

介護施設ではなく、あくまで住宅として扱われる住まい

- ・外出や外泊ができるケースが多く、老後をのんびり過ごしたい方におすすめ
- ・要介護度が上がった場合や、医療依存度が高くなった場合は住替えが必要

